

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	627	雇用、勤労者対策事業	会計	01	一般会計
基本施策	46	地元で魅力的な雇用の場をつくる	款	05	労働費
担当部課名	産業振興部商工政策課		項	01	労働費
作成者氏名	川崎末博	連絡先	目	02	労働諸費
		22-9672 (内線2750)	細目	102	雇用、勤労者対策事業
			細々目	01	雇用、勤労者対策事業

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	市内労働福祉団体、商工業団体 地元で就職を希望する学生や求職者 市内に居住する勤労者	成果(どうなるのか)	就職セミナーの開催による地元雇用の促進 勤労者の生活の安定と福祉の向上
	本年度事業内容	・地元で就職を希望する学生や求職者に対し、市内立地企業との情報交換の場として、合同就職セミナー(合同求人説明会)の開催を委託し、地元雇用の促進を図る。 ・勤労者の福祉向上施策として、伊賀地区労働者福祉協議会に事業補助し、また勤労者の生活安定を図るため持家促進貸付金や教育資金貸付金などの制度の利用促進を図る。		
平成 16 年度 終了年度 平成 年度 根拠法令・要綱等				

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
投入人員	正規職員 (人)	0.2	0.2	0.2
	人件費合計(A)	1,440	1,440	1,440
支出内訳(千円)	事業費(B)	210,735	198,811	199,731
	委託料	500	450	1,270
	貸付金	209,000	197,000	197,000
	補助金	1,200	1,080	1,080
	その他	35	281	381
合計(A+B)		212,175	200,251	201,171
財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
	その他特財	209,000	197,000	197,000
	一般財源	3,175	3,251	4,171
上記 ~ に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
就職セミナー参加者数	人	651	662	673			
就職セミナー参加企業数	社	74	78	82			
開催回数	回	2	2	2			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
就職セミナー参加企業	就職セミナーへの参加企業が増加することにより、雇用の選択が多様になり雇用促進に繋がる。	社	74 目標	78	82
就職セミナー参加者数	雇用機会の増加を図る上で、参加者数の増を指標とする	人	651 目標	662	673

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

雇用、勤労者対策として、各団体に事業委託または事業補助を中心に事業を行っているところであるが、2007年問題などこれからは元気な退職者が多くなると考えられることから、企業への雇用のみならず、地元農林業やNPO法人活動などへの就業も支援していかなければならない。企業のみならず地元産業の雇用ニーズの把握と求職者の希望する職場を把握し就労の促進を図らなければならない。

評価	必要性	4	就職セミナーなどは市の雇用施策として継続すべき事業であり、商工会議所・商工会に事業委託し立地企業の多くの参加を得ながら求職者の雇用機会の拡大しなければならない。また、労働者福祉協議会への補助についても、市独自の勤労者福祉施策が無い状況においては、引き続き事業補助を継続し市内勤労者福祉の向上を図らなければならない。	総合評価
	有効性	4		
	達成度	3		
	効率性	4		
				A